
恋心

奈津美

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

恋心

【Nコード】

N8758A

【作者名】

奈津美

【あらすじ】

ある夏の日歩美はコナンの家に向かった。

（前書き）

これは歩美がメインです。
文章もまだなのですがどうぞ読んでください。

夏

太陽がサンサンと照りつける中

歩美は毛利探偵事務所に向かっていた

歩美は密か（？）にコナンへの恋心を抱いていた

コナンとは少年探偵団のメンバーという関係

つまりは友達関係ということである

歩美は、思いを伝えたいと思っていたのだが

コナンには好きな人がいるのでは無いかと不安だった

「あら吉田さん？」

「哀ちゃん！」

歩美が考えていた人は灰原哀

クールで可愛いクラスメイトだった

「どうしたの？」

「あ、哀ちゃん……。」

「なに？」

聞きにくいよお

けど……聞かなくちゃ！

「コ……。」

「コ？」

がんばれ、歩美！

歩美は自分にそう何度も言い聞かせた

「コナ……」

「コナ？」

頑張るのよ、歩美！

歩美は言葉を変えて、また何度も言い聞かせる

「コナ・・・薬ってまずいよねっ!!」

「はっ??」

ああ、歩美のバカバカバカー!!

歩美は自分の頭を叩いた

「え、えつとお・・・」

太陽はまたサンサンと街を照らした

明るくて、眩しい日光に目をそらしたくなった

「くすつ。」

「えっ??」

哀はくすくす笑い始めた

「江戸川君のこと聞こうとしたの?」

やはり、哀にはお見通しということだろうか

歩美は顔を真っ赤にして、聞いた

「哀ちゃんは、コナン君好き？」

「えっ？」

やったあ！聞けた！！

歩美は小さくガッツポーズをした

「恋愛感情はもってないわ。」

「ほ、本当？？」

「ええ。」

「ありがとう、哀ちゃん！！」

「吉田さん、どこ行くの??」

「コナン君の家だよ。」

「そう、暑いから水分取りなさいよ。」

「うん、じゃあね哀ちゃん!!」

「バイバイ。」

私は急いでコナン君の家に走った。

もう迷わないよ！

「江戸川君ももてるわね。」

吉田さんの恋は叶わない・・・。

けど、頑張つてほしい。

あなたには純粋な心を持ち続けてほしい。

「可哀相に……。」

哀はアスファルトをじっと見つめた後

再び前を向いて、歩き出した

$$\begin{array}{ccccccc} & \bullet & & & \\ & \circ & & + & \\ & & & + & \\ & \bullet & & & \\ \circ & & \bullet & & \circ \\ & & + & & \\ & & + & & \circ \\ & \bullet & & & \\ \circ & & & & \\ & \bullet & & & \circ \\ & + & & & \\ & + & & & \circ \\ & \bullet & & & \\ \circ & & & & \\ & \bullet & & & \circ \\ & + & & & \\ & + & & & \circ \end{array}$$

・
。
。
+
+。
。
。
+
+。
。
。
。
+
+
。

「はあはあ、着いたあ。」

歩美はすぐに帽子をかぶり直そうとした

その時だった

フワッ

「ああ！帽子があ！」

突然の強い風に帽子は飛んでしまった。

「あつ・・・。」

歩美の帽子は人に拾われた

その人とは・・・

「コナン君！！」

「おお、歩美じゃねーか。」

「帽子・・・ありがとね。」

「ああ、歩美じっとしてろよ」

「えっ？」

スッ

「コナン君・・・」

コナン君は私に帽子をかぶせてくれた。

「もう飛ばされんなよ。」

「うん！」

私はコナン君が好き。

この気持ちだけは負けないよ。

「そっいえば、どうしてここに？」

いつか言っただ

「コナン君と遊ぼうと思ったの！」

出会った時から

「じゃあ、家来いよ。」

「うん！」

あなたのことが大好きですってね！

「おじゃましてーす！」

「いらっしゃい、歩美ちゃん！」

私がつ持っているもの

それは

”
恋
心
”

（後書き）

これは一番最初に書いた小説を編集したものです。
連載中なのに短編を投稿した理由は・・・。
連載中のお話の続きが思いつかなくて^^；

最後の「いらっしやい歩美ちゃん！」は蘭です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8758a/>

恋心

2010年10月20日20時58分発行